

有機農業とは？

化学的に合成された肥料・農薬や、遺伝子組換え技術を利用しないことを基本として、農業生産による環境への負担をできる限り減らした「環境にやさしい農法」の1つです。

● 環境にやさしい農法

他にも、化学肥料や化学合成農薬の使用を5割低減する特別栽培という農法などもあります。

オーガニックビレッジに向けた取り組み

国が推進する「みどりの食料システム戦略」を踏まえ、有機農業の生産から消費まで一貫し、農業者のみならず事業者や地域内外の消費者を巻き込んだ地域ぐるみの取組を進めています。

世界農業遺産

「武蔵野の落ち葉堆肥農法」

所沢市は世界農業遺産武蔵野の落ち葉堆肥農法推進協議会の正会員として、同協議会と連携し、この農法の周知啓発や保全に取り組んでいます。実践農業者として認定された方は、補助金をご利用いただけます。

この農法は、令和5年7月に世界農業遺産に認定されました。



詳しくはこちら

所沢市産業経済部農業振興課

☎ 04-2998-9158
(平日：8:30～17:15)

✉ a9158@city.tokorozawa.lg.jp

〒 359-8501
埼玉県所沢市並木1-1-1



あなたも食べて応援！ 有機の産地づくり



有機農業を広げるためには、消費者の力が欠かせません。

有機栽培を始めて2～3年間は「転換期間」と呼ばれ、有機JAS認証[※]を取得することができません。

所沢市では、この期間の農産物や認証を取得していない農産物も学校給食で活用し、有機農業に取り組む農業者を支援しています。

あなたの周りにも、有機栽培で育った農産物を活用する飲食店が増えています。

見かけた際にはぜひ、食べて応援してください！



所沢市イメージマスコット トコロん

※有機農産物の日本農林規格（JAS）に基づき、有機農産物であることを第三者機関が認証するものです。

このマークが目印！



学校給食では、「とことこオーガニック」として有機栽培で育った農産物の試験的導入を進めています。

食農教育を通じて、子どもたちと地域を繋ぎ、未来の農業を育てていきます。

所沢市

土から育む 有機の産地づくり



所沢市では、環境にやさしい農業を推進することで、地球温暖化の防止や、持続可能な農と食の仕組みづくりを目指しています。

土づくり等を通して、農業が環境に与える影響の低減に取り組み、都市近郊の利点を活かして「農の多様性」や「多彩な魅力」を感じられる産地づくりを目指します。



環境にやさしい農業への支援



環境にやさしい土づくりの講座

基礎講習と技術講習からなる全6回の農業者向けの講座を実施します。有機農法で取り入れられている、化学肥料や化学合成農薬に頼らない土づくりを、専門家が指導します。



詳しくはこちら

講座に参加すると無料で土壌診断をお受けいただけます。※ただし、数に限りがあります。



所沢市環境にやさしい農業推進事業費補助金

環境負荷の軽減に配慮した持続可能な農業に取り組む生産者を支援するため、生分解性マルチフィルムや緑肥作物種子、フェロモン剤・トラップ用資材等の購入経費を一部補助しています。



詳しくはこちら



環境保全型農業直接支払交付金

化学肥料・化学合成農薬を県の基準から原則5割以上低減する取組等と合わせて、地球温暖化防止や生物多様性保全等に効果の高い農業生産活動を行う農業者団体に支援を行っています。

国、県、市が一体となって行う支援のため、活用をご希望の場合は農業振興課までご相談ください。



有機の産地づくりに向けた試行的な取り組み



進めています！
オーガニック給食

子どもたちに食を通して農業を考えてもらえる機会を増やしていきます。

市民も有機農業実践中！

令和6年4月から、所沢市体験農場のうち、向陽町農場が有機農業専用になりました。



生産



あなたも土の健康診断しませんか？

土壌分析に基づき、環境にやさしい施肥設計をご提案します。

日頃の栽培方法を見直すきっかけに、ぜひお試しください。

- ・土壌分析に基づく施肥設計
- ・実証ほ場での有機農法の実践
- ・地域資源を生かした堆肥等の調査

消費



- ・学校給食への有機栽培農産物の活用
- ・マルシェ等への出展



加工・流通

- ・有機栽培された農産物の加工品の試作
- ・共同出荷の試行



規格外農産物の加工や商品開発にチャレンジ！

今後、ご協力いただける事業者を募集予定です。あなたのアイデアをお待ちしています。

今後、有機農業実施計画を策定し、オーガニックビレッジを目指して取り組んでいくことを宣言します。



所沢市イメージマスコット トころん